



公益財団法人 **国際労働財団**

Japan International Labour Foundation

2025年6月

第10回【2025年度】 JILAFグローバル人材養成研修参加者募集



JILAF は、1996 年から約 20 年間にわたり「JILAF 国際活動家養成コース」として、労働組合関係者を対象に国際労働運動を担う人材育成コースを開催してきました。2016 年度からは名称を「グローバル人材養成研修」に改名し、より参加しやすく、より効果的な内容に更新しました。また、今年度はエントリーコースを日程・内容ともに拡充しています。

国際労働運動等で活躍できる人材が一層求められる中、この研修では、国際活動に必要な英語力を実践的かつ体系化した手法で学ぶとともに、JILAF 事業とも連携したグローバルな視点で知識・経験を深めていくことをねらいとしています。

開催形式は昨年度と同様に、参加者が落ち着いた環境で自分の課題に取り組むオンラインを主体としつつ、練習の成果を発揮し実践の経験を積む対面研修を組み合わせた、ハイブリッド方式にて開催します。

国際労働運動での活躍を希望される方、または、期待される方からの積極的な参加をお願い申し上げます。

「第10回グローバル人材養成研修」の概要および募集要項

1 当該研修の背景

労働運動の国際化が急速に進むなか、労働組合もより一層の国際的な対応が求められています。

しかし、国際労働運動の現場において、リーダーシップを発揮し活躍できる人材が十分とは言えず、人材育成をさらに充実・強化させていくことが求められています。

そういったなかで、JILAFは連合等と連携し、国際労働分野で広く活躍できる人材の育成に取り組んできました。1996年の研修開始以降、今日まで約300名がこの研修に参加し、修了生として国内外の労働分野において活躍しています。

2 研修概要

英語研修は、「エントリーコース」、「アドバンスコース」の2つのコースで構成されています。

「エントリーコース」では、国際労働運動で活用できる基礎的な英語力を身につけることを目標としています。また、「アドバンスコース」では、より実践的な内容を身につけることを目的にし、約3ヵ月間の集中講義を行います。

「エントリーコース」の履修により、講師陣が参加者個々人の英語力を見極めたうえで、各参加者への丁寧なフォローアップを行いながら「アドバンスコース」の研修を進めることができます。

また、「労働講義」では、最新の国際労働情勢等を提供する研修を行います。

3 具体的プログラム内容

【エントリーコース 全5回】

■期間：2025年10月

「エントリーコース」は、やや英語力に不安のある方や長期間英語から離れていた方等を対象にした、実践的英語力に不可欠な「基盤力」の土台を固めるためのコースです。「話すための英文法のエッセンス」や英語の「音とリズム」と「文のつくり」の特徴を理解し、実践します。同時に、労働組合活動の場で頻出する基本語彙・表現と、仕事の基本動作（依頼・確認・相談）で必要な英文を、サッと「使える」形で身につけます。またそのための効果的な学習方法を学び、コース期間を通して学習習慣も身につけます。

2022年度から「エントリーコース」のコース内容を拡充し、開催回数を3回から5回に増やしました。これによって、学習のやり方がより定着し、安心感を持って継続的に学習が進められるようになります。加えて、発展的な実践練習までできることで、将来、組合で英語を使うイメージも作ることができます。

「アドバンスコース」に入る前の準備としてだけでなく、「エントリーコース」のみの受講も可能です。終了時には、今後の英語学習のやり方や、学習教材等について個別ニーズに合わせたアドバイスを提供します。「アドバンスコース」を受講する自信のない方は、今年度は「エントリーコース」を受講して学習法を身につけた後学習を継続し、次年度にアドバンスコースに参加することも可能です。

【アドバンスコース 全10回】

■期間：2025年10月下旬～2026年2月初旬

(1) 英語研修

K/Hシステム（注）の英語学習法に基づき、国際的な組合リーダーとして、組合の活動の現場で、効果的で、かつ社会人としての品格を備えた英語コミュニケーション力を養成します。実践英語力に不可欠な基盤と、論旨が明快でクリアなコミュニケーションに必須の要素を学ぶと同時に、プログラム修了後も効果的に継続学習する方法を習得します。異文化の相手に、日本の労働組合運動と労使関係を効果的に説明できることを狙った教材パッケージを使うことで、英語力を強化するだけでなく、外から見た「日本の労働組合運動の特徴」についても学べます。

「アドバンスコース」のみの参加希望者でも、講師が必要と判断した方（TOEIC650点未満程度の方等）には、「エントリーコース」から参加していただきます。

（注）K/Hシステムとは？

同時通訳として経験豊富な国井信一・橋本敬子両氏が独自に開発し、指導する英語学習システムです。英語の効果的勉強方法を体系的に教え、英語力のブレイクスルーを体験できます。

具体的には、英語の「音自体の聞き取り」と「意味の聞き取り」を分割して教え、かつ英語の文を組み立てるエッセンスを身につけさせることで、リスニング・スピーキングの両方が同時に強化されます。また、それぞれの英語能力に応じて、ステップバイステップで体系的に学ぶことができます。

K/Hシステムには、25年を超える実績があり、これまでに1万人以上の国際的なビジネスパーソン、政府関係者、社内通訳をこのシステムで養成してきました。本コースでは、両講師がJILAFのために開発した、労働運動分野を中心にした内容の教材と、仕事で使う英語教材を使用します。

*このコースの参加者には別途ご案内する、事前学習教材に基づくレポートを提出していただきます。

（全体構成）

集中研修

月に2～3回程度の研修日があり、コース全体では約3ヵ月間で計10回程度の研修を実施します。最初のフェーズでは、英語の基盤力と学習法の習得にフォーカスし、第2フェーズで英語のロジックにフォーカスした実践練習を行います。第3フェーズは総合練習で、ミニプレゼンと質疑応答・簡単なミーティング練習も行います。

個別フォローアップ：

研修期間中は、個別の目標と英語力に合わせて、自主学習のメニューを作り、個別に学習サポートすることで、英語のコミュニケーション能力の向上をめざします。

修了判定：

全体のまとめとして、中間発表会と最終発表会（簡単なメモをベースにスピーキング＋質疑応答）を行い、この英語コースの目標とする英語のコミュニケーション力が達成されているかどうかを確認します。この成果確認をもって、グローバル人材養成研修での英語プログラムの修了と判定します。



(2) 労働講義

全参加者を対象に、JILAF役員や国際労働運動専門家を講師として労働講義の研修を行います。

講義テーマは、以下を予定しています。

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・国際労働運動の基礎知識と用語 | ・日本の労働運動の役割と課題 |
| ・労働運動を支える法体系 | ・ILOの活動、その他 |

研修プログラム（スケジュールイメージ）

	10月	11月	12月	1月	2月
エントリーコース (5回)	●●●●● ○開講式				
アドバンスコース (10回)	●● ○開講式	● ● ●	● ●	● ●	● 修了
← 個別フォローアップ →					
← 労働講義（選択） →					

4 対象者

国際労働運動での活躍を希望する方または期待される方

必要英語力

エントリーコース：TOEIC400点～650点未満程度

アドバンスコース：TOEIC650点以上またはエントリーコース修了者

*アドバンスコースのみの参加希望者でも、講師が必要と判断した方（TOEIC650点未満程度の方等）には、エントリーコースから参加していただきます。また、650点以上の場合でも、長く英語に触れることから離れていた方、アドバンスコースでご自身の英語力に応じたきめ細かなフォローをご希望される方はエントリーコースからの受講をお勧めします。

5 応募方法と参加費用等

(1) 応募方法

応募者は、出身組織の推薦により、当該組織を通じてJILAFにお申し込み下さい。

(2) 研修料金

エントリーコースのみ	1名当たり 3万円
アドバンスコースのみ	1名当たり 15万円
エントリーコースおよびアドバンスコース	1名当たり 18万円

6 募集人員

各コース10名以下（最少実施人数6名）

7 締切り

2025年8月22日（金）（ただし、締切日前でも定員に達し次第、募集を終了します。）

問合わせ先

（公財）国際労働財団 総務・広報・人財グループ

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-15-11 翔和神田ビル5階

電話：03-3525-7120 FAX：03-3525-7124 E-MAIL：soumu@jilaf.or.jp